



2017 春季生活闘争ニュース

2017. 3. 13 第2号 発行責任者 連合北海道組織労働局

2017 春季生活闘争勝利!

3・9 全道総決起集会を開催!

連合北海道は3月9日、札幌わくわくホリデーホールにおいて2017 春季生活闘争ヤマ場の闘いに向けて全道総決起集会を連合石狩地協、札幌地区連合との共催で開催。1550名の組合員等が参加し、取り組み方針と闘う意思を全体で確認した。



出村会長

挨拶で連合北海道の出村会長は、経済の自律的成長、持続可能な社会を作っていくためには、月例給にこだわった賃金改善と大手と中小及び非正規労働者の格差改善が必要。昨年以上の結果を求めて皆で頑張ろうと訴えるとともに、長時間労働の上限規制と同一労働同一賃金の実現についても前進させなければならないと呼びかけた。さらに宅配便問題に触れ、本格的な人口減少社会のなかでサービス提供のあり方など、これまでの社会常識を議論し変えていくのも連合の役割と強調した。また、解雇撤回の闘いを進めている

ベルコ労組に対する支援に感謝するとともに、このような違法な働き方を一掃する取り組みも重要であり、5月以降、働き方改革の推進のために全道キャラバンなど連合北海道としても取り組んでいくと決意を述べた。

最後に、時期は読み切れないとしつつ、立憲主義・民主主義を取り戻すために安倍政治の転換と一強他弱ではなく緊張感のある政治体制を実現することが不可欠とし、総選挙に向けた協力を要請した。

続いて杉山事務局長が方針提起を行い、今次闘争の基本は道内で働く98万人の中小企業労働者と91万人の非正規雇用で働く仲間など、すべての働く者の処遇を



集会の最後に参加者全員の団結ガンバロー



杉山事務局長

「底上げ」することであり、月例賃金、賃金水準にこだわって精力的に交渉を進めよう、さらに、その成果を広く社会に波及させようと提起した。また、「長時間労働の是正・過労死ゼロの実現」のために「労働時間の量的上限規制」と「インターバル規制」の法制化が必要と訴えた。加えて、道内で786円の最低賃金で生活している29万人の非正規労働者の処遇改善のためにパート時給1000円への引き上げと均等待遇への改善を図ることなど、3月15日の山場以降、地場中小の4月過ぎまで続く長い闘いに向けた総結集を強く訴えた。

決意表明では、フード連合の関谷事務局長はサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配実現を図るために、今年も公正取引実現に向けた要請行動を行うとともに「個別賃金・絶対額」にこだわった取り組みを行うこと、運輸労連の森下書記長は、'90年の規制緩和により不毛な過当競争が起き長時間労働・低賃金化によってドライバーの高齢化と人手不足が進んでいる。運輸産業は生活・経済を支えるインフラであり、適正運賃・料金の下で労働者の適正な処遇が実現するよう取り組むことが表明された。渡島地協の八木橋事務局長からは、1千名を超える渡島地域ユニオンの様々な職種の労組の取り組みについて紹介された後、参加者の団結ガンバローで集会を終えた。



関谷事務局長



森下書記長



八木橋事務局長